



書評

地震と火山と防災のはなし

楠城 一嘉編著

平成30年度と令和2年度に実施した「静岡で知っておきたい地震と火山と防災講座」の内容を分

かりやすく書き下ろした「地震と火山と防災のはなし」が楠城一嘉(なんじょう・かずよし、静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門総括・特任准教授)編著により成山堂書店より出版された。

第1章「日本列島の基礎を学ぶ」は静岡県公立大学法人理事長兼静岡国立大学の尾池和夫学長が間違いやすい震度とマグニチュード、これまでに起きた地震の歴史を解説。

第2章「富士火山が私たちに教えること」は吉本充宏(山梨県富士山科学研究所富士山火山防災研究センター客員共同研究員)、鴨川仁(静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門特任准教授)が富士山の噴火の歴史と地球環境、防災を考えている。

第3章「これから起きる南海トラフ地震に備える」は織原義明(災害予測情報研究所代表)が東日本大震災の前にあった様々な異常、新しい防災対応を解説、第4章「火山と地震とほどよい距離感で暮らす」は小山真人静岡大学防災総合センター副センター長が伊豆半島だけがフィリピン海プレートにある特異性と火山、大津波、活断層を分析している。

第5章「自然災害にどう備える?」は長尾年恭(としやす、東海大学客員教授)が在宅避難とライフライン復旧、自然災害の心構えを喚起、第6章「台所にあるモノが、家族の危機を救う!」はイラストレーター/防災士の草野がおるが、非常食ではなく、日常備蓄品で乗り切る身近な防災の知恵を教える。

税。

定価2000円+